

# 年末年始対策を決定

## 市場協会・安全部会

年末年始にあたって、市場内の業務を安全かつ円滑に推進するため、市場協会・安全部会（部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事長）が、12月11日に、大阪府、警備、清掃担当者



者の出席のもと、市場協会会議室で開催された。

東野部会長の挨拶の後、府市場管理センターから通常業務に加えて行う年末年始対策（案）として、①防犯②盗難防止の巡回警備の強化として12月24日

からの30日と1月1日の間に、14ポイント延べ71人の警備員の配置、②車両規制③場内渋滞緩和のための交通規制④車両規制の強化や水産大通りの渋滞緩和のための荷捌き等の場所の確保、⑤ごみ（清掃）⑥ごみ集積所ゲートの閉鎖時間⑦青果荷物エレベーター⑧通常通り運転などを決定した。

協議では、市場内照明で消えているところがあるので、交換してほしいとの要望があった。また、警備から1月1日の正門での入場車両のチェックについて、防犯とごみの持ち込み対策のため、市場関係者のご理解を求められた。

次に、場内事故等発生状況について、管理センターから件数は昨年が

### 衛 検 だより

## HACCP(ハ CCP)による衛生管理について

### 食品衛生検査所

この衛研だよりでも度々取り上げていますが、「HACCP」は安全で衛生的な食品を調理するための管理方法のひとつで、問題のある食品の提供を未然に防ぐことが可能な方法として国際的にも認められています。今後、食品衛生法が改正されてHACCPによる衛生管理が制度化される予定です。

制度化されること、製造・調理・加工・販売等を行う全ての食品等事業者は、衛生管理の注意点を明確にした「衛生管理計画」を作成し、施設・設備の衛生管理、適切な手洗いの実施、冷蔵庫（冷凍庫）の温度管理、従業員

の実施が求められます。

具体的には、①食材の入荷から出荷（販売）までの全工程に潜む食中毒菌汚染等の「危害を把握し、その危害を除去低減する」「チェックポイント」をルール化する。②特に「重要なチェックポイント」について継続的に監視し記録する。

これにより衛生管理をルール化し、結果を記録することで衛生管理の方法を「見える化」します。管理した記録を残していることで、万が食中毒や異物混入など不具合が発生した時にも原因究明がしやすい、事業者自身の衛生的な管理の証になるなどのメリットがあります。

HACCPによる衛生管理について

71件で今年が70件とほぼ同数の発生状況が報告された。特に、昨年にはない火災が3件発生しており、1件はターレットのエンジン部が熱を持ち発光したものの、2件はたばこが原因とみられるボヤで、場内での分煙の徹底などのたばこ対策が急務であることが指摘された。

また、昨年なかった商品や自販機のつり銭などが盗まれる事件も3件発生した。

部会として、年末年始に特に注意を喚起することを申し合わせた。

次に、府から流入車規制の条例改正について説明があった。

最後に、事務局から注意喚起ポスターの掲示依頼があった。



は、平成5年に食品の国際規格を定めるコーデックス委員会においてガイドラインが示されてから20年以上が経過し、米国やEU等の先進国を中心に義務化が進められています。2020年開催される東京オリンピック・パラリンピック大会を控えて、国際基準と整合的な食品衛生管理が求められること、また日本から輸出する食品にもHACCPによる衛生管理が要件とされるなど、国際標準となつてい

HACCPの義務化を控えて先ずはお金をかけなくても取り組める、施設の整理・整頓・清掃や記録などソフト面の部分を改善することから始めてください。導入方法について大阪府ホームページに掲載の「大阪府庁職員ブログ」や「大阪府食の安全安心メールマガジン」でも分かりやすく紹介しています。ぜひ一度ご覧いただきますようお願いいたします。

## 管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。(税抜)

- 活性化事業 □ハード事業 ◆管理棟昇降機(No.2号機)改修工事【事業費】2420万円完成12/19※供用開始12/20 9:00 ◆プラットホーム大屋根拡張工事別案検討中(転送・中継拠点等として整備) ↓卸棟から仲卸棟への屋根拡張 ↓日建設計協議(12/19) 構造計算等の検討 ↓設計・事業費の試算 ◆青果棟2階プラットホーム防鳥ネット整備調整中 □ソフト事業 ◆イオン市場直送セール(水産物) ○新菜木店 1/13 ◆修繕事業 178件4747万円 ◆水産棟事務所廻り駐車場区画線他修繕工事(幅23m ↓25m) 【事業費】287万円完成12/3 ※青果エリアは立駐C改修整備後着手(H30年度)
- ◆西1号門出入口付近(市道5号線)舗装修繕工事(茨木市・食流と要協議) となりあえず市に要望
- ごみ問題 □不法投棄の防止 ◆不法投棄件数(11月24件) ↓対策開始前に比べ82%減少 □青果くず排出状況

○年末年始における門の開閉 (12/24～1/4) (管理センター資料より)

場所	月 日	時 間		備 考
		開門	閉門	
正 門	12月24日～1月4日	24時間	開門	1/1 全日入場車両チェック
西1号門	12月25日～30日	2:00	20:00	但し 12/24 加工園地感謝セール開催のため 8:00～14:00開門 休場日は全日閉門
西2号門	12月24日～30日	0:00	20:00	休場日は全日閉門
北門 東門	12月24日～30日	2:00	12:00	休場日は全日閉門

○年末年始におけるごみ集積所ゲートの開閉 (12/31～1/4)

場所	月 日	時 間		備 考
		開門	閉門	
水産A	1月1日～3日	3:00	17:00	※12/31,1/4は通常通り 3:00～17:00
青果A・D	1月1日	全日閉門		
	1月2日～3日	5:00	13:00	
水産B、青果B・F	1月1日～3日	全日閉門		

- 「( )は対前年比」 ◆11月単月実績 ○排出量約73トン(約21トン+39%) ○処理費用約143万円(約40万円) ◆11月までの累計 ○排出量約6555トン(約210トン) ◆24% ○処理費用約1273万円(約408万円) ◆12月19日現在の状況 ○排出量14・4トン
- カラス対策 ○捕獲数7回54羽
- 冷蔵庫棟屋上に捕獲器新設1/6から開始 ○鷹匠による撃退の試行実施
- 茨木消防署査察 開場以来初めて
- ◆今期4回査察済み、次回H30・1予定 ◆消防署による改善命令を受け、是正が必要な工事
- 店舗及び事務所の自火報約80カ所、スプリンクラー約20カ所の設置に向けて現場調査中 ※整備事業費は事業者負担

- ◆当面の重点事業と課題 ◆分煙コーナリの整備と禁煙の徹底(違反者に対する入場禁止の行政処分) ◆産地要請による円滑な物流の確保 ○青果大通りの秩序維持 ○物品の整理と線引・3パレット分(41m)線引11/26完成・中央線、ウイング車停車位置は継続協議 ◆輸出、中継等の拠点市場としての新たなスペースの確保(検討の場の設置) ◆大阪府依頼事業 ○青果立体駐車場C棟塗膜防水改修工事 【工期】H30・1/9(火)～H30・3/27(火) 【事業費】3850万円 ○管理棟窓面台修繕工事(設計図書協議中) ○管理棟屋上防水修繕工事(設計図書協議中) ◆ロードチェン化の実現(水産売場低温管理) (中間報告・天井カセット4方向形×28台 天井吊型×28台(ガス式)・感応式自動シャッター ↓温度帯26℃～28℃)もう少し下げられないか再検討を指示・テント式の日井張り・エアーカーテンの設置